



富士見市議会だより

富士高生の主張 in 富士見市議会

実施日：令和5年9月29日（金）



富士見市議会と埼玉県立富士見高等学校の生徒の皆さんとの協働事業として、事前の準備段階から打ち合わせを重ね、一緒に作り上げていくことを大切にしながら取り組んでまいりました。
当日は、5組（9人）の皆さんからそれぞれが選定したテーマに基づき発表をしていただき、それに対する生徒の皆さんや議員からの質疑なども交えて行いました。
また、傍聴というかたちで生徒さんや先生方にもご参加いただき、和やかな雰囲気の中で進めることができました。

発表① 濱田勇斗さん

スポーツから生まれる経済的効果

阪神の優勝で1,000億円、西武ライオンズでは146億円の多大な経済効果があった。しかし、地域で差が生じている要因について、スポーツ離れが影響していると考えられる。スポーツには多くの良さがある。富士見市にプロスポーツチームを設立することで、地域や経済の活性化が期待できる。チームから大谷翔平選手レベルの選手が現れれば、さらなる活性化も期待できる。

発表② 細谷理央奈さん、上田愛斗さん、川夢月さん

娯楽施設の少なさを、増加に向けての動き

富士見市の活性化のため、テーマパークの設立を提案する。市内にはらぼーとしか娯楽施設がなく、若者離れが進む中、多くの人が娯楽施設の増加を望んでいる。メリットには、若者が市を離れるのを防ぎ、高齢者と若者の交流の場が提供されることなどがある。デメリットとして、初期投資が必要となるが、富士見市の過疎化を防ぐため、娯楽施設の設立は不可欠である。



発表①



発表②

発表③ 青柳友翔さん

富士見市の自然をより良くする

富士見市には豊かな自然が広がっているが、不法投棄やポイ捨てなどによって自然が損なわれている。「割れ窓理論」の考えを基に、富士見市でのゴミ拾い運動を提案したい。放課後に行うことで、学生もゴミ拾いに参加することができる。また、高齢者も参加することで健康の向上が期待できる。今ある環境を改善することでも、より良い街になると信じている。

発表④ 井上みゆさん、高橋乃輝さん、高橋椋乃さん

少子高齢化社会から見るコミュニティの希薄化と富士見市について

少子高齢化に伴い、コミュニティの希薄化が進行している。地域の活性化や交流の促進が必要である。特に、若者と高齢者間での交流を深めることで、伝統や文化の継承が可能となる。そのため、小中学生の参加によるふるさと祭り等でのスタンプラリーの実施、地域の活動場所の提供、他市町村からのボランティア募集を提案する。これらの取組を通じて、少子高齢化によるコミュニティの希薄化を防ぐことが期待される。



発表③



発表④

発表⑤ 高田樹さん

選挙について

10代から20代の投票率が低いが、若者の間での政治への関心は実際には高く、政治への不満も実際には多岐にわたる。投票率を上げるための方法として、マイナンバーカードの活用、SNSを通じた啓発活動、公職選挙法の改正、選挙時に飲食物やグッズの無料配布などが挙げられる。日本でも、家庭や友人同士での政治に関する議論を増やすことで、自然と投票行動が増える可能性が考えられる。



発表⑤



総評（3年生 濱田勇斗さん）

この発表を通じて、異なる視点や新しい知識を得ることができたのは大きな収穫だったため、参加してよかったと感じている。上の世代に任せるだけではなく、私たち自身も積極的に考え、行動を起こさなければ、社会は変わらないと感じた。このような体験は非常に貴重であり、今回の経験を終わりにせず、得た知識や意見を共有し、みんなで協力して富士見市をより良い街にしていきたい。



※この内容は、本事業における発言をまとめたものです。発言内容は、趣旨が読み取れる範囲で一部要約してあります。

「富士見市議会だより」題字について

今号の市議会だよりの題字は、富士見高等学校3年生で書道部の服部 雅也さんに書いていただきました。

トピックス

令和5年第3回（9月）定例会が8月29日（火）から9月26日（火）までの29日間にわたって行われました。今定例会では、令和4年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定をはじめとする9件の決算認定や、令和5年度富士見市一般会計補正予算などについて審議し、いずれも原案のとおり可決・認定・同意しました。

市政一般質問

市民の皆さんの生活にかかわる諸問題や富士見市の課題などについて市議会議員が市に対して質問を行いました。



関野 兼太郎(21:未来クラブ)

①第3次富士見市教育振興基本計画について

Q 誰ひとり取り残さない教育のため不登校対策の充実を。教育相談の充実や関係機関との連携を深め、本人のみならず保護者や家族も対象とした支援を実施していく。

②開発が進む水谷地域の様々な環境整備について



Q 交通弱者対策に有効なゾーン30の地域指定を。

A 水谷地域の交通安全対策には有効な手段であるため、今後警察と協議していきたい。

③安心安全な社会に向けて

Q 新河岸川右岸堤防上部にある亀裂に不安の声を聞くが、対応をすべきでは。

A 埼玉県によると、定期的な目視点検の結果により、調査や補修工事等の計画はない。

Q 防災情報を一元的に把握できる防災アプリの導入を。

A 先進自治体の導入事例を参考に研究していきたい。



尾崎 孝好(21:未来クラブ)

①行政経営について

Q 今後、市では新庁舎の整備やガーデンビーチ跡地活用など、大きな事業が検討されている。これらの整備には大きな予算が伴うことが想定されることから、今後の行政経営においては、より適切な予算執行が求められると考える。整備の必要性については十分



認識しているが、導入コストや将来負担の平準化などにも考慮した財政運営も必要と考えるが、市の見解は。

A 市庁舎など必要な施設の整備は進めていくが、基金等活用しながら厳しい財政状況も踏まえて取り組んでいく。

②交通安全対策について

Q 歩道上での自転車と歩行者の接触事故が散見される。自転車の安全な利用に向けてマナーや意識向上が重要と考えるが、市としての取組は。

A 交通安全教室の開催や啓発動画の配信等を行っている。

伊勢田 幸正(無党派日本維新の会)



①DX化について

Q 学校におけるプリントの配付の電子化の状況は。

A 半数の学校で実施。実施は学校ごとの判断となる。

Q 学校の欠席の届出の電子化の状況は。

A 小学校9校、中学校5校で実施している。

Q 学校の教材費の集金のキ

ャッシュレス化の状況は。

A 小学校2校、中学校2校で先行して実施している。成果を検証していく。

②びん沼自然公園について

Q 6月以降のびん沼自然公園の利用者数は。

A 6月の大雨の影響で2週間のパークゴルフ場の休止、不安定な天候や猛暑の影響もあり、全体的に減少している。秋に向けてパークゴルフ大会、マルシェなどを企画していく。

Q 駐車場の状況は。

A 北側駐車場が満車になったのは、6月の2日間のみ。

根岸 操(無党派(立憲))



①市民の健康を守る施策について

Q 秋開始のワクチン接種について、3回目以降未接種の場合は接種券を発送しないとのことだが、混乱するのでは。

A 健康増進センターに問合せしてほしい。

②交通安全について

Q 一般市民を対象とした自

転車交通安全教室の開催を。

A 今年度、スケアードストリート技法を用いた交通安全教室を実施するが、保護者や地域の方の受入れを協議する。

③市民要望について

Q 鶴瀬駅西口前の違法自転車駐輪対策は。

A シルバー人材センターと相談の上、業務時間について検討する。

Q みずほ台駅前東西トイレを洋式化してリニューアルすることについて、市の見解は。

A 部分的に順次改修して洋式化することを検討する。

篠原 通裕(公明党)



①行政のデジタル化について

Q デジタルデバイス対策において、スマホの使い方の教

A 今年度秋以降、新たに実施する講習会に参加することで、教えるための知識も同時に身に付くものと考えている。

Q ChatGPTなどの利活用をどのように考えるか。

A 先進自治体の情報を収集し、検討していく。

②平和啓発・継承活動について

Q 戦争体験をされた人々が減少する中、さらなる取組について計画や方針を伺う。

A 戦争体験者が語る映像の保存や講話者の派遣制度の活用などを検討する。

③ごみ出しのルール違反防止対策について

Q 監視カメラの貸出制度を創設しては。

A 様々な課題をクリアする必要がある。

篠田 剛(公明党)



①治水対策について

Q 国や県の治水事業は。

A 新河岸川の水位が上昇した際の新河岸川下流域の急激な水位上昇を抑えるため、渋井水門が2門へ増設された。

Q 下の谷公園付近の旧富士見江川沿いの道路復旧工事の状況は。

A 6月2日の台風2号の後

に、道路の陥没や舗装の亀裂を確認して応急対応を実施した。復旧に向けて地元町会等と連絡を取り合い、修繕方法等について調整を図っている。地域住民が安心して生活できるように早期の復旧に向けて取り組んでいく。

②難波田城公園の更なる整備について

Q 古民家のバリアフリー化を。

A 土間から床への上がり下りの負担をなくすなど、多くの方が見学できるように研究していく。

斉藤 隆浩(21:未来クラブ)



①成年後見人制度について

Q 高齢化が進み、判断能力が十分でない方が増えると思うが、後見人充足の考えは。

A 必要な方が利用できるよう、社会福祉協議会と連携し、制度の充実と周知に鋭意取り組む。市民後見人養成講座を行い、担い手の確保に努める。

Q 養成講座受講者のうち、

市民後見人は一名だが現状は、支援員として活動し、後見人希望者へはフォローアップ講座を実施している。後見人になることへの責任や体力的な不安等で諦める方もいる。

②投票率向上について

Q 「親子で投票にいきこう」の推進、周知の考えは。

A 子どもの頃に親と一緒に投票に行った人は、投票参加率が高いというデータがあるため、働きかけは重要である。小学校の出席講座で、家族を誘って一緒に投票所に足を運ぶよう今後も呼びかけを行う。

小泉 陽(21:未来クラブ)



①公共施設等マネジメントについて

Q 実行計画の進捗状況は。

A スケジュールに沿って取り組んでいる。今後、建物や施設運営の状況により、計画の修正があると考えている。

Q 再編や集約化の進め方は。

A 庁内における再編案の検討、調整を経て、市民と公共

施設マネジメントの背景や目的を共有し、協働による公共施設づくりを目指す。

②鶴瀬駅西口土地区画整理について

Q 町名地番変更の日程は。

A 令和6年度後半に実施できるよう事務を進めている。新住所は、各区画に新地番を付定し、住所として使用するため、住所の重複はなくなる。

③DX推進に伴う情報弱者への対応について

Q 高齢者へのサポートは。

A デジタル活用支援推進事業により講習会を実施する。

佐野 正幸(21:未来クラブ)



①学校環境について

Q 必要な台数の冷水器の設置を。

A 必要に応じ対応していく。

Q 下校時の見守り体制へのサポートを。

A 防犯の部分にも関わるため、教育委員会も含めて協議していく。

②市民・地域要望について

Q 集会所の予約や鍵の受渡し方法等の改善を。

A これまでと同様の方法により、維持管理を行っていく。

Q びん沼自然公園のパークゴルフ場の中間にトイレの設置を。

A 現在設置する考えはない。

Q 投票所への移動支援を。

A 研究していく。

Q 西出張所が閉鎖中の対策として、近隣の公共施設又は職員の出張で受付等の対応を。

A 関係各所と調整し、鶴瀬西交流センターでの取次窓口の設置を確定した。





① 英語教育の充実について
 Q 毎朝、楽しんで見られる英語動画などを活用しては。
 A 朝の活動は学校ごとに導入を判断していくものとなる。
 Q 体験型英語学習施設TIGを活用してはどうか。
 A 各学校の選択の一つとなるよう、紹介していく。
 ② 防災対策事業について

Q 公式LINEに防災メニューの追加をしてはどうか。
 A 今後、関係部署と協議し、検討していく。
 Q フリーダイヤルの防災行政無線電話応答サービスを導入してはどうか。
 A 費用対効果等を研究する。
 ③ 熱中症対策の更なる推進について
 Q 高齢者世帯等のエアコン利用促進について、エアコン整備や点検のための取組は。
 A 市や高齢者あんしん相談センターにおける、事業者等の紹介などで対応していく。



① 西出張所の早期再開を
 Q なぜ、西出張所の代替施設を設置しないのか。
 A 現有施設があるにも関わらず、どこか別の場所に新しい施設を作る考えはない。
 ② 地域公共交通について
 Q ふじみ野市では循環ワゴンが計6台で5コース、市内全域を運行している。富士見

市でも循環バス路線の拡充を。
 A 限りある財源の中では今以上の拡充は考えていない。
 ③ 放課後児童クラブの施設と支援員の拡充について
 Q 児童130名に対し、トイレの便器が三つしかないクラブもある。早急な対策を。
 A 学校のトイレを利用するなどして対応する。
 Q その場合は付き添いの人員が必要という強い要望がある。支援員の増員と仮設トイレの設置を早急に検討すべき。
 A トイレ設置は考えていない。現場で工夫して対応する。



① 鶴瀬駅東口周辺のまちづくりについて
 Q まちづくりの拠点となる鶴瀬駅周辺の将来像をどのように検討しているのか。
 A 駅周辺の活性化に繋がる土地利用となるよう、まちづくり協議会などで検討する。
 Q 鶴瀬駅東口周辺の商店街の店主や地域住民の声をどう

聴いているのか。
 A 都市計画マスタープランの策定の中で地域の声をしっかりと反映させた。
 ② シティゾーンについて
 Q 市内産業の発展のために誘致企業と市内中小企業との連携をどう考えているか。
 A 誘致企業との共助関係は、物品や委託等の市内事業者への優先発注、連携した取組、地域貢献活動などを要望し、予定される企業と意見交換を行い、産業団地整備が市内全体の産業の活性化につながるよう進めていく。



① マイナンバーカードを巡る諸課題について
 Q 政府はマイナンバーカードと健康保険証の一体化を進め、来年の秋には健康保険証を廃止するとしているが、様々なトラブルの発生が懸念されている。健康保険証の廃止は中止するよう国に求めるべきと考えるが市長の見解は。

A トラブルや課題は承知しているが、メリットもあるため健康保険証廃止の撤回を求めることは考えていない。
 Q 医療機関でのトラブルについて把握しているか。
 A 報告は受けていない。
 Q 市内の複数の医療機関では、顔認証ができないことや、窓口負担割合や住所などの情報の誤りが発生するなどトラブルが多発している。市として現場の実態をつかみ、国に届けるべきと考えるが見解は。
 A 医療機関の話聞いた上で今後検討する。



① 犯罪機会論に基づいた安心安全なまちづくりを
 Q 貝戸の森公園の防犯対策として、防犯カメラの設置や見通しを良くする取組を。
 A 既に照明をLED化し、木を剪定し、園内を清掃済み。防犯カメラの設置はプライバシーの観点から考えていない。防犯カメラ付き自動販売

機の設置について見解は。
 A 自動販売機が必要な場合検討する。
 ② 市内公共交通について
 Q 民間バスとの役割分担はどう考えるか。
 A 民間を主軸とし、民間が運行しない場所は市のバスが運行する方針である。
 Q 羽沢3丁目ヤコ前にバス停を設置するべき。
 A 民間バス路線に相談した。びん沼自然公園へのアクセスが不便である。改善を。
 A さらばーと富士見から乗換することでアクセスできる。



① お子さんと一緒に安心してトイレの利用ができるための配慮を
 Q 公共施設におけるお子さんによる鍵開け防止の現状は。
 A 特に対策はしていない。
 Q 埼玉県庁でも対策が進んでいる。鍵開け防止の工夫を。
 A 埼玉県庁での取組は確認した。本市でも検討していく。

② 交通政策について
 Q 市民の満足度の認識は。
 A 現状継続への要望が多い。
 Q 2市1町での広域化を。
 A 協議を継続していきたい。
 Q 高齢者や障がい者から特に要望が多いバスの拡充を。
 A 今以上の拡充は難しい。
 Q ふじみ野市を参考に、ワゴン車を活用する実証実験を。
 A 現状を維持継続していく。
 Q 高齢者や障がい者等への移動支援が求められており交通政策や予算の拡充を求める。
 A 高齢者や障がい者への実態調査を行い研究をしていく。



① 選挙について
 Q 高齢者への支援事例として、大型自動車を活用した移動期日前投票所が総務省資料に掲載されているが、議論を行ったことはあるのか。
 A 事例として承知しているが議論を行ったことはない。
 Q 障がいがある方の投票状況について、何が課題なのか

調査し、ニーズを把握しては。
 A 調査はしない。アンケートでニーズを把握していく。
 ② 富士見ガーデンビーチ跡地活用について
 Q 水害対策の予定は。
 A 埼玉県河川砂防課と協議し、必要な対策を検討する。
 Q スポーツ施設の方針だが照明や屋根をつける考えは。
 A コストや管理費を総合的に勘案し検討する。
 ③ 図書館について
 Q 泊まれる図書館イベントを開催しては。
 A 人的配置に課題がある。



① 部活動について
 Q 部活動における教職員の指導が生徒の可能性を左右する。どのような指導を目指しているのか。
 A 技術面はもとより、精神的、社会的成長ができる指導を目指している。
 ② 小中学生の運動能力は
 Q 令和4年度の体力合計点

の平均が過去最低となった。先進事例を参考に対策を検討すべきではないか。
 A 既に取り組んでいるものもあるが、研究検討していくと思う。
 ③ 学校プール開放について
 Q 利用は小学生以上であり、未就学児の利用は全て不可となっている。何度も未就学児が利用できる研究や検討、取組や工夫を提案し訴えてきた。検討状況はいかがか。
 A 提案や思いは理解するが、現状どおりとっていく。

● 宮尾 玲(日本共産党) 議員の市政一般質問につきましては、本人から取下げ願書が提出されたため、取下げとなりました。



議員顔写真下のスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、それぞれの議員の市政一般質問一覧や、議場で質問したときの録画映像にアクセスできます。なお、最新映像の公開には時間がかかる場合もございますので、ご了承ください。

議会映像をインターネットで配信中!

ライブ中継 本会議を生放送
 録画映像 本会議終了後1週間程度で配信

または

■次回定例会のお知らせ■

- 11月28日(火) 開会・議案内容説明
- 12月 1日(金) 議案総括質疑
- 12月 5日(火) 総務常任委員会
- 12月 6日(水) 文教福祉常任委員会
- 12月 7日(木) 建設環境常任委員会
- 12月 8日(金)～14日(木) 市政一般質問
- 12月15日(金) 予算決算常任委員会
- 12月20日(水) 委員長報告・採決・閉会

※日程は変更になる場合もあります。

令和5年第3回(9月)定例会 審議結果

議案等番号	議案等の名称	議案等番号	議案等の名称
53	富士見市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	67	令和4年度富士見市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について
55	富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	68	令和4年度富士見市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
56	令和5年度富士見市一般会計補正予算(第5号)	69	令和4年度富士見市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
57	令和5年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)	70	富士見市道路線の廃止について
58	令和5年度富士見市介護保険特別会計補正予算(第1号)	71	富士見市道路線の変更について
59	令和5年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	報告7	令和4年度富士見市一般会計継続費精算報告書について
60	令和5年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	報告8	令和4年度富士見市下水道事業会計継続費精算報告書について
63	令和4年度富士見市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	報告9	令和4年度公益財団法人キラリ財団決算について
64	令和4年度富士見市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	報告10	債権の放棄について
65	令和4年度富士見都市計画事業鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	諮問3	人権擁護委員の推薦について
66	令和4年度富士見都市計画事業鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	諮問4	人権擁護委員の推薦について

*「報告」については採決の対象ではありません

○賛成 ×反対

議案等番号	議案等の名称	審議結果	議員																				
			小泉陽	田中栄志	佐野正幸	尾崎孝好	齊藤隆浩	関野兼太郎	村元寛	加賀奈々恵	熊谷麗	勝山優太	今成剛	篠田通裕	篠原通裕	山下優子	深瀬邦憲	木村玲	宮尾玲	小川勝弘	川畑勝弘	根岸操	伊勢田幸正
54	富士見市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	令和4年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	令和4年度富士見市国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情3	「健康保険証廃止」を中止するよう国へ意見書提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
陳情6	「健康保険証廃止の中止を求めるための意見書」を国に提出することを求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議19	LGBT理解増進法の慎重な運用を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議20	物価高に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議21	汚染水の海洋への放出中止を国に求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議22	学校における「指導死」をなくすための法律の制定等に関する意見書の提出について	原案可決	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議23	県水道料金20%引上げ試算を見直し、料金引上げを回避することを求める意見書の提出について	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
議24	ガソリン価格の高騰対策として「トリガー条項」の発動を求める意見書の提出について	原案可決	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※表中、(立)は無会派(立憲)、(維)は無会派(日本維新の会)を省略し表記しています。
 ※表中、議案等番号の「議」は、議員提出議案です。

賛否の分かれた議案等

決算議案に対する各会派等の討論(発言順)

日本共産党 (不認定) 西出張所の代替施設設置、市内循環バス路線の拡充、放課後児童クラブの過密化の解消、びん沼自然公園の自然の再生、水害対策、すこやか支援員や学校図書館司書の拡充などの市民要望の反映を。税の滞納者に対しては差押えではなく生活再建の相談を。決算は約8億円の黒字、財政調整基金は52億を超えている。その一部を使い対策を講じるべきだった。物価高騰の中、市民生活を支える施策への転換を求める。	無会派(日本維新の会) (認定) ももクロラボのご当地発車メロディなど市制施行50周年の行事が行われ、コロナ禍の市民に元気を与えた。一方で、ロシアのウクライナ侵略によるエネルギー高の影響は、市の光熱水費だけで1億円超。より一層の自主財源確保の取組を求める。私もアイデアを議会を出していく。庁舎整備基金の積立は、物価高の影響もあり、さらなる積立が必要。適正な積立を期待する。
草の根 (認定) 市役所新庁舎整備、産業団地誘致の前進は今後に期待する。学校給食の無償化措置や公会計化、調理業務委託への取組を評価する。1人1台パソコンで教育が変化し始めた。積極的な活用を求める。体力テストの結果が過去最低となった。今後の取組が必要。不登校支援の広がりも評価。今後も課題克服に注力。財政力指数が低下し、経常収支比率も硬直化が進む。定住化、企業誘致など自主財源の確保が必要。	公明党 (認定) 新型コロナウイルスへの対応を進めながら、補正予算の第11号まで取り組み、市制施行50周年記念事業、びん沼自然公園整備事業の継続、災害用備蓄品に乳幼児液体ミルクの導入、学校体育館のエアコン設置工事の継続、子宮頸がん予防ワクチン接種の推奨、眼科検診費用の助成、介護保険利用料補助事業から利用者負担助成事業へ移管したことなどは、これまで公明党として強く推進した事業であり、高く評価する。
21・未来クラブ (認定) 新型コロナウイルス感染症等に対する施策として補正予算が11回生まれ、前年度を上回る決算となった。市制施行50周年記念事業を実施し、本市の存在が強く認知され発信できたこと、予算編成方針の重点施策の推進により、市民生活の向上、市政の着実な進展につながったことも評価する。今後も、事業のスクラップなど財源確保に務め、市民生活へ影響が生じないよう、適正な運営を進めることを求め、認定とする。	無会派(立憲) (認定) 令和4年度もコロナ関連の対応が多かった。その中で物価高騰等による影響を受けている所への対応が迅速に行われたことや、各種事業に対する施策を評価する。市税等が増加している中、コロナの影響の改善として市独自の財源を取り崩しての支援も欲しかった。高齢者福祉では、新規事業はなく、さらに施策の取組を願う。状況によっては学校給食費の完全無償化や18歳までの子ども医療費無料化を要望し認定とする。

9月定例会 議案審議報告

議案第53号 富士見市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決) 新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部改正に伴い、同法律を引用している富士見市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正するものです。 [令和5年9月26日施行]	議案第56号 令和5年度一般会計補正予算(第5号) (全会一致可決) 既定の予算に3億8,768万9,000円を増額し、予算の総額を402億9,465万7,000円とするものです。 ≪主な内容と金額≫ ・市内小、中、特別支援学校で使用する教員用端末を購入するための補正 [1億7,753万4,000円] ・エネルギー価格高騰に伴い利益率が減少し、経営に支障を来している市内中小企業者に対し、光熱費等の価格上昇相当分の一部を支給するための補正 [5,694万3,000円]
議案第54号 富士見市立図書館条例の一部を改正する条例の制定について (賛成多数可決) 図書館利用カードの電子化等に伴い、富士見市立図書館条例第9条及び第11条に定める利用カードに係る規定を改正するものです。 ≪主な内容≫ 条例第9条の図書館内の利用及び第11条の図書館資料等の貸出しについて、図書館利用カードの提示のほか、教育委員会規則で定めるマイナンバーカード及び携帯端末等に表示された情報の提示により手続を可能とするため、規定を改正する。 [令和5年10月1日施行]	諮問第3号 人権擁護委員の推薦について (全会一致可決) 令和5年12月31日で任期満了となる根岸由紀子氏を、再び推薦することに同意したものです。
議案第55号 富士見市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について (全会一致可決) 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。 [令和5年9月26日施行]	諮問第4号 人権擁護委員の推薦について (全会一致可決) 令和5年12月31日で任期満了となる長堀善光氏を、再び推薦することに同意したものです。

